

農 研 速 報

令和元年 8 月 13 日発行

茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室

〒301-4203 茨城県水戸市上国井町 3402

TEL 029-239-7212 FAX 029-239-7306

水稲の生育状況（8月9日現在、水戸市）

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況	今後の栽培管理及び備考
茨城県 (水戸市)	5月1日	「あきたこまち」 糊熟期 「コシヒカリ」 乳熟期 「ふくまる」 乳熟期～糊熟期	「あきたこまち」 4日遅い (出穂期) 「コシヒカリ」 6日遅い (出穂期) 「ふくまる」 5日遅い (出穂期)	<p>◇平年に比べ、7月第4～第5半旬の平均気温はかなり低く推移した。また、日照時間についても同様に、7月第4半旬で平年比25%、第5半旬で41%とかなり短く推移した。</p> <p>梅雨明け以降、平年に比べ、7月第6半旬～8月第1半旬の平均気温は、平年よりかなり高く推移した。また、日照時間についても同様に、7月第6半旬で平年比110%、8月第1半旬で134%と長く推移した。</p> <p>「あきたこまち」の出穂期は7月19日で、平年より4日遅かった。「ふくまる」の出穂期は7月22日で、平年より5日遅かった。また、「コシヒカリ」の出穂期は7月30日で、平年より6日遅かった。</p> <p>登熟積算気温による成熟期の予測は、「あきたこまち」で平年より4日遅い8月25日、「ふくまる」で6日遅い8月29日、「コシヒカリ」で6日遅い9月8日である（今後気温が平年並に推移した場合）。</p>	<p>●<u>斑点米カメムシ類の防除</u> 病害虫発生予察注意報第2号（茨城県病害虫防除所、8月1日発表）を参考に防除を行う。<u>本年の斑点米カメムシ類の発生はやや多い</u>ことから、防除に注意する。</p> <p>●<u>紋枯病の発生に注意</u> 気温22℃以上の高温多湿で発生が助長される。株元での初期発生が見られたら幼穂形成期～乳熟期にかけて薬剤散布を行う。</p> <p>●<u>出穂期以降の水管理</u> 出穂期以降、落水時期までは、2～3日で水がなくなる程度に入水し、自然落水後、田面が乾く前に入水する作業を継続する。</p>

				<p>本年の生育は、3品種とも低温の影響が大きい時期である幼穂形成期前(出穂 30～40 日前)と減数分裂期(出穂 8～15 日前)に、低温に遭遇したため、幼穂の伸長が遅滞し、出穂期が 4～6 日遅れたと考えられる。</p>	<p>●<u>落水時期</u></p> <p>登熟期の早期落水は乳白粒や胴割粒などを発生させる。落水時期の目安は、「あきたこまち」で出穂期後 25 日、「ふくまる」、「コシヒカリ」で出穂期後 30 日である。</p>
	5 月 10 日	穂揃期～乳熟期	<p>「コシヒカリ」 4 日遅い (出穂期)</p>	<p>◇気象概況は 5 月 1 日移植に準ずる。</p> <p>「コシヒカリ」の出穂期は 8 月 2 日で、平年より 4 日遅かった。</p> <p>登熟積算気温による成熟期の予測は、「コシヒカリ」で平年より 5 日遅い 9 月 14 日である(今後気温が平年並に推移した場合)。</p> <p>本年の生育は、低温で推移したことにより、幼穂の伸長が遅滞し、出穂期は遅れたと考えられる。</p>	<p>●5 月 1 日移植に準ずる。</p>

水 稻 の 出 穂 状 況

(作物研究室)

移植時期	品種	出穂始			出穂期			穂揃期			出穂始から穂揃期までの日数		
		本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (日)	前年差 (日)	平年差 (日)
5/1移植	あきたこまち	7/17	+5 (7/12)	+5 (7/12)	7/19	+5 (7/14)	+4 (7/15)	7/21	+6 (7/15)	+4 (7/17)	4	+1 (3)	-1 (5)
		7/29	+8 (7/21)	+8 (7/21)	7/30	+7 (7/23)	+6 (7/24)	8/1	+6 (7/26)	+5 (7/27)	3	-2 (5)	-3 (6)
	コシヒカリ	7/20	+7 (7/13)	+6 (7/14)	7/22	+8 (7/14)	+5 (7/16)	7/24	+9 (7/15)	+5 (7/19)	4	+2 (2)	-1 (5)
	ふくまる												
5/10移植	コシヒカリ	8/1	+5 (7/27)	+6 (7/26)	8/2	+4 (7/29)	+4 (7/29)	8/4	+4 (7/31)	+4 (7/31)	3	-1 (4)	-2 (5)

() 内は前年または平年の実数値を示す。

【耕種概要】 1) 苗質：稚苗

2) 植え付け本数：5本/株

3) 基肥施肥量

「あきたこまち」・「ふくまる」 N：P205：K20 = 0.8：2.0：1.8(kg/a)

「コシヒカリ」 N：P205：K20 = 0.6：1.5：1.4(kg/a)

【平年値】 平成26～30年の5年間の平均値

4) 栽植密度（株/㎡）

現地の実情を踏まえ、本年から一部変更

	令和元年	平成29～30年	平成26～28年
あきたこまち	18.5	18.5	22.2
コシヒカリ	18.5	18.5	22.2
ふくまる	18.5	18.5	

5) 追肥時期及び追肥施用量

(5月1日移植) あきたこまち 6月29日 N：K₂O=0.3：0.3(kg/a)

ふくまる 7月 2日 N：K₂O=0.4：0.4(kg/a)

コシヒカリ 6月29日 N：K₂O=0.3：0.3(kg/a)

(5月10日移植) コシヒカリ 7月19日 N：K₂O=0.3：0.3(kg/a)

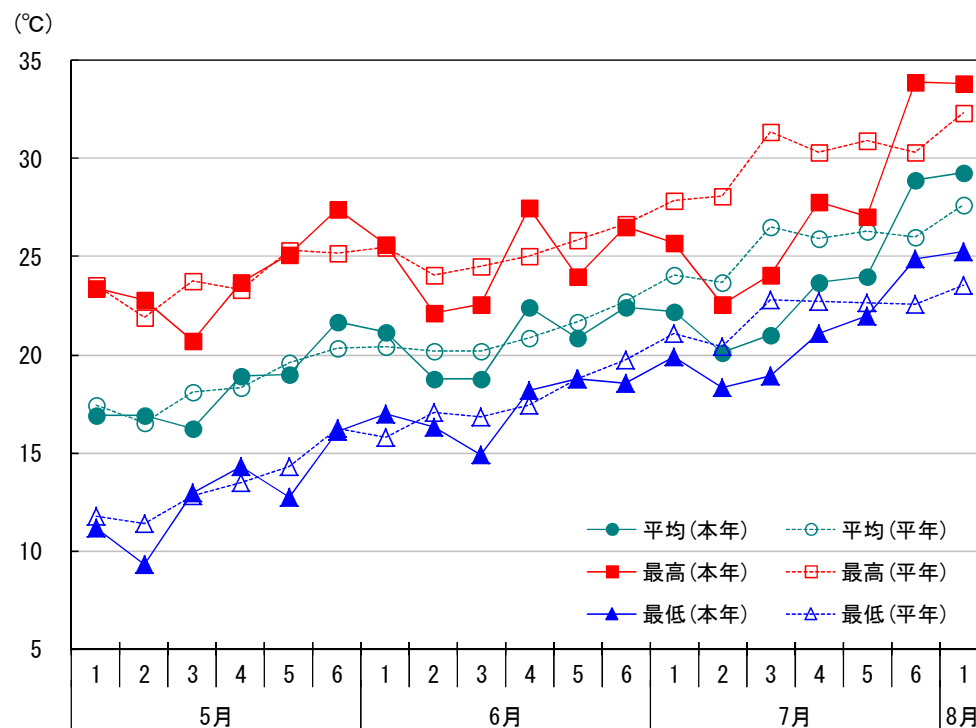


図1 半旬別気温の推移（水戸地方気象台）
注） 平年値は平成26～30年の5年間の平均値

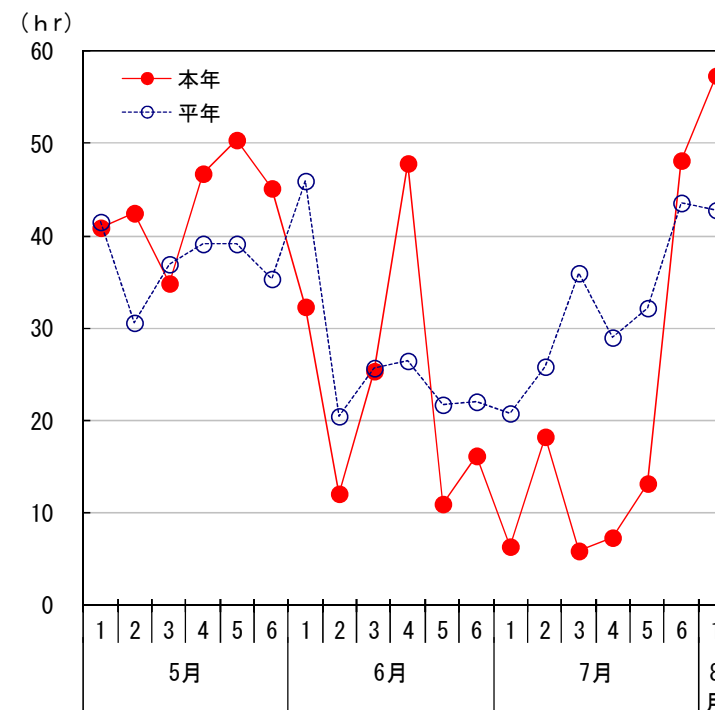


図2 半旬別日照時間の推移（水戸地方気象台）
注） 平年値は平成26～30年の5年間の平均値

移植時期別の 気象条件

移植時期	期間	平均気温 (°C)			積算平均気温 (°C)			積算日照時間 (hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比 (%)
5月1日移植	5月第1半旬～8月第1半旬	21.2	21.9	-0.7	2066.9	2129.0	-62.1	456	529	86
5月10日移植	5月第3半旬～8月第1半旬	21.7	22.5	-0.8	1897.7	1959.3	-61.6	373	457	82




表3 登熟積算気温による成熟期予測（予測日：8月9日）

移植時期	品種	出穂期	登熟期間 積算平均気温	出穂期～8/8 までの積算平均 気温	8/9～成熟期 までに必要な 積算平均気温	成熟期予測※	成熟期
(本年値) (月/日)		(本年値) (月/日)	(平年値) (°C)	(本年値) (°C)	(本年値) (°C)	(平年差) (日)	(平年値) (月/日)
	あきたこまち	7月19日	994	580	414	8月25日 +4	8月21日
5月1日	コシヒカリ	7月30日	1031	294	760	9月8日 +6	9月2日
	ふくまる	7月22日	996	507	516	8月29日 +6	8月23日
5月10日	コシヒカリ	8月2日	1068	206	885	9月14日 +5	9月9日

注) 登熟期間積算平均気温 (°C) は平成26～30年の5年間の平均値。

水戸地方気象台の気象データから作成。

※今後気温が平年並に推移した場合の予測

【 5 月 1 日移植の生育状況 】 撮影日：8/9		
あきたこまち	コシヒカリ	ふくまる
		
【 5 月 10 日移植の生育状況 】 撮影日：8/9		
コシヒカリ		
